

武蔵野大学大学院通信教育部人間社会研究科

小論文過去問題（人間学専攻）

令和7年度 第1回

我が国では小中高生の自殺者数は近年増加傾向にあり、深刻な状況が続いている。令和5（2023）年の小中高生の自殺者数は513人となり、過去最多であった令和4（2022）年の514人と同水準であった。

子どもの自殺の動機・要因は不詳であることが多いと言われているが、小中高生の自殺者数は令和2（2020）年に大きく増加したことから、コロナ禍を含む社会状況が子どもの自殺と関連があると考えられる。一方、新型コロナウイルスの感染拡大は世界各国に甚大な影響を及ぼしたが、2020年に10代の死因順位の第1位が「自殺」となっている国はG7*の中では日本のみであった。

我が国において、子どもの自殺防止のためにはどのような取り組みが必要であるか、あなたの考えを述べなさい。

*G7とは、フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ（議長国順）のこと